

わくわく就活講座

～村瀬先輩と今井くん～

学部3年生・修士1年生の人の中には、「これから就職活動(以下、就活)だけど、どうすればいいんだろう!？」と思っている人も多いはず。このページでは、まさにそんな感じの3年生“今井くん”に、就活を終えた4年生“村瀬先輩”が就活について紹介していきます。1,2年生の人や大学院を受けようと思ってる人も、数年後の就活一歩先取り!ぜひチェックしてみてください。

※ここで紹介する就活についての情報やアドバイスは、あくまで1人の先輩の経験をもとにしたものであり、この通りにすれば絶対大丈夫というものではありません。

登場人物紹介



今井くん

これから就活をしようと思っている経済学部3年生。就活サイト登録は気が乗らなくてまだしていない。今度友達と一緒に合同説明会に行く予定。



村瀬先輩

名古屋大学教育学部4年生。6月に志望企業(小売)から内定をもらい、無事就活を終了。卒論にサークルに残りの大学生活を満喫している。

就職活動のおおまかなスケジュール

10	自己分析	企業研究	エントリー	会社説明会など	エントリーシート	筆記試験・面接	内定
11							
12							
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							

～10月になって授業も再開。今井くんが経済学部棟にやって来ると、そこに村瀬センパイが…～



今井: あっ、村瀬先輩お久しぶりです。こんなところで何してるんですか?

村瀬: 内定が東京であるから、学割取りに来たの。そういえば、今井くんは今年就活?

今井: そうなんですよ～。でも、どうすればいいのかわかんなくて…。友達に合同説明会行こうって誘われてるんですけど、スーツで行ったほうがいいんですかねえ?

村瀬: うーん…。私の経験からでよければ、就活についてアドバイスしようか?

今井: ほんとですか!?ぜひぜひ、お願いしますー。



村瀬先輩の就活講座

＝身だしなみ編＝

就活の服といえば、スーツ。就活にはこれ! というものが決まっているわけではありませんが、男女ともに黒の無地のものを着ている人が多いようです。シャツを買うのも忘れずに。大学の入学式のためにスーツを購入した人も多いと思いますが、スーツのサイズが合っていないと、見た目が悪く相手にきちんとしていない印象を与えてしまう可能性があります。一度スーツのサイズを確認してみてください。もちろん、今もっているもので充分だと思えば、無理にスーツを新調する必要はありません。

靴と靴は黒や茶色のものを使っている人が大半。靴はA4サイズの物が入る大きさだと、説明会などで資料をもらったときに入れやすく便利です。



～数日後、合同説明会に初めて行った今井くん。さて、その感想は…？～

今井:村瀬先輩一。お昼一緒にいいですか?ちょっと相談が…。

村瀬:いいよ～。どうしたの?

今井:合同説明会、行ったはいいけど、企業がたくさんあり過ぎて…。先輩はどうやって志望業界や志望企業考えたんですか?

村瀬:私も最初は志望企業とか全然決まっていなかったよ。自己分析したり、いろんな企業の説明会に行ったりして、だんだんと自分に合いそうなところがわかってきたの。

村瀬先輩の就活講座

＝ 志望業界・企業 編 ＝

私たちが普段生活している中で目にする企業や企業名は、全体のうちのごく一部です。そのため、合同説明会でたくさんの企業があることを知って驚く人も多いでしょう。このような膨大な数の中から、自分の受ける企業を決めなければなりません。

まずは、企業を選ぶときの「基準」を自分の中で明確にしましょう。基準は人それぞれですし、その見つけ方もいろいろあります。すぐにこれだ!というものが見つかる人もいれば、就活を進めながらゆっくりと見つける人もいます。あまり焦らないようにしましょう。

また、業界名や企業名だけにとらわれるのはあまり良くありません。事業内容や仕事内容をちゃんと確認するようにしましょう。最初はあまり興味がなかった企業でも、仕事内容を見たらけっこうおもしろそう♪というのはよくある話です。広い視野をもっていろいろな企業に目を向けてみましょう。いろいろな企業を見るために、合同説明会に行ってみるといいかもしれません。



今井:志望業界や志望企業がまだ決まっていなくても、焦らなくていいんですね。

よかったあー。

村瀬:興味のある企業が見つかったら、就活サイトからエントリーするといいよ。

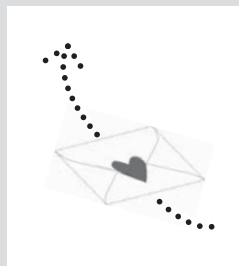
今井:えんとりー?

村瀬先輩の就活講座

＝ エントリー 編 ＝

興味のある企業が見つかったら、就職サイトなどを通してそこに「エントリー」してみましょう。エントリーは、「私はあなた(企業)に興味があります」という意思表示です。エントリーをした企業からは、説明会のお知らせがメールで届いたり採用に関する資料が郵送されたりするようになります。

企業独自の説明会では、合同説明会や就職サイトだけでは得られないような詳しい説明を聞くことができます。新入社員の方や第一線で活躍している社員の方が話をしてくれたり、企業で普段行われている会議を体験するためのグループワークがあったりと、企業の個性がよく出ます。その企業でどんなことができるかだけでなく、どんな人が働いているかということや雰囲気も気になるという人は、の説明会に参加してじっくりと話を聞いてみるのがいいかもしれません。



ちょこっとコラム

～「自己分析」について～

志望業界や企業を選ぶ基準を考えたときのヒントの一つとなるのが、自己分析。でも、「自己分析って、そんなに深くやらなきゃいけないの?」「どこまでやれば十分なの?」とも思いますよね。これから自分が何年も働いていく企業を決めるかもしれないのだから、深い方がいいいろんなことについて考えてあった方がいいでしょう。けれど、頭で考えているばかりだと、ネガティブになったり考えが煮詰まったりしてきますよね。

そんなときは、考えるよりも行動してみちゃいましょう!たとえば、合同説明会に行ってみて、そこでいろんな企業の話聞いて感じたことを書き留めておくと、基準を考えるときに大いに参考になりますよ。

今井: そうそう、合同説明会で企業の人と話するとき、すっごく緊張したんですよ〜。選考で面接とかするとき大丈夫かなあ。
 村瀬: 面接の前に、エントリーシートをだすところもあるよ。筆記試験があるところもあるし…。
 今井: へえ〜。ほかにもいろいろ形式ってあるんですか？
 村瀬: そうだね。たとえば、面接でもグループ面接とか、グループワークとか…

村瀬先輩の就活講座

＝ 選考編 ＝

選考の方法は企業によってさまざまですが、書類選考・筆記試験・面接という流れが一般的です。

◆書類選考◆

履歴書やエントリーシートによる選考です。エントリーシートは各企業が独自で作っている書類です。「大学時代にがんばったこと」「入社したらどんなことがしたいか」など、企業ごとにさまざまな質問が出されます。

◆筆記試験◆

学力を測る試験です。SPI、一般常識などがよく使用されますが、企業によっては独自で問題を作成しているところもあります。また、その受験方法も企業によってさまざまで、ペーパーテストやWebでの受験などがあります。

◆面接◆

グループ面接、個人面接などいろいろな形式があり、企業や選考の段階によって異なります。選考の初期はグループ面接やグループディスカッション、終盤になってくると個人面接になることが多いです。

〜今井くん、就活への不安が和らいで、けっこうやる気が出てきた様子…〜

今井: 先輩、今日はいろんなアドバイスありがとうございました。
 村瀬: …あ、ちょっと待って！大事なこと言うの忘れてた！
 今井: ??何ですか？



村瀬先輩の就活講座 補講

＝ 名大就活生の強〜い味方編 ＝

名大で就活をするあなたには、強〜い味方がたくさんいます。

生協

・R-CAP

性格・適職診断などができます。自己分析や企業選びのヒントにしてみてください。

・合同企業説明会「JOB SESSION」

開催日: 11/29(水)・30(木)
 予約不要・入場無料・入退自由・服装自由なので、気軽に参加してみましょう。

・就活セミナー「就活サプリ塾」@名大

開催日: 11/18(土)、12/9(土)
 学生の視点を大切にした就活セミナー。詳細はこの冊子のP24をご覧ください。

学生総合支援課

場所: 工学部7号館B棟2階

<http://syusyoku.jimu.nagoya-u.ac.jp/>

・就職資料室

先輩の採用試験報告書や求人票・会社案内、OB&OG名簿などの閲覧ができます。就職サポーター（進路の決まったB4、M2の先輩たち）も待機しています(10月下旬〜2月)。

・就職相談室

専門的な知識・経験をもつ相談員の先生に進路や就職に関する疑問や不安など、いろいろなことについて相談できます。(予約制)

※詳細Webサイトをご覧ください。

就活支援サークル

学生が中心となって、自己分析セミナーや模擬面接を行っている団体(サークル)がいくつかあります。

小規模のものもあるようなので、興味のある人は先輩などに、そのような活動をやっている知り合いがいなかったら聞いてみるといいかもしれません。



今井: 名大って、こんなにいろいろ利用できるんですね。なんだか心強いなあ。
 村瀬: でしょ？でも、就活は情報を待ってるんじゃなくて自分から取りに行くことが大切よ。
 今井: はいっ。えっと…、まずは就活サポーターさんのところに行って、「就活サプリ」に参加して、それから…
 村瀬: で、でも、無理をするのは禁物よ！(汗)



いかがでしたか？村瀬先輩の就活講座は楽しんでいただけたでしょうか？今まで就活に身が入らなかった人や、就活について悩んでいた人が少しでも「就活がんばってみようかな」と思うきっかけになればうれしいです。

最後に、今回情報提供をしてくれたにゃっこ先輩(教育学部4年)に、就活についてインタビューしてみました。記事よりももっと具体的な話を聞いたので、ぜひお楽しみください！

突撃インタビュー！にゃっこ先輩の就職活動

インタビューアール：みつくす(工学部化学生物工学科3年)

どんな業界に就職するんですか？

—流通・小売業界です。

最終的に第1志望から内定をもらったんですか？

—はい。そうですね…。そこが最初からずっと第1志望だったわけではないんですが、最終的にはいちばん働きたいと思った企業だったので、第1志望ですね。

会社を選んだポイントと、今の会社を第1志望に決めた時期を教えてください。

—会社を選んだポイントは3点あります。1点目は、自分がやりたいと思う仕事ができそうなこと。2点目は、結婚や出産をしても続けられそうな環境があること。3点目は、将来その会社でやりたいことがあること。

今回就職を決めた企業が第1志望になったのは、今年の4月ごろ。この企業の説明会に参加したときです。もともと知っている企業ではあったんですが、紹介VTRを見てさらに興味がわいたし、将来のことを考えても楽しく働けそうだなと思いました。実は、その説明会のときにいっしょに筆記試験があって、その出来があまりよくなかったんです。絶対不合格だろうなと思ったら、この会社で働きたかったのに残念だなと思って、志望度がけっこう高かったんだと実感しました。

もともとは大学院進学予定だったそうですが、なぜ大学院に行かずに就職しようと思ったんですか？

—今勉強していること(心理学)は職業としてずっとやっていきたいものではないなと思ったし、一般企業で仕事をするのがおもしろそうだなと思ったからです。

私は3年生になったころから、大学院に進学するか就職するか迷っていました。心理学は、仕事するには自分に合っていないかもしれないと感じていたからです。就職を選ぶのもっと大きなきっかけになったのは、3年生の12月に偶然参加した「就活サブリ塾」(本冊子P21参照)という就活セミナーでした。スタッフとしてお手伝いをしたんですが、そこで一般企業に勤めていらっしゃる方々と間近でお話をする機会があって、みなさんいきいき働いてらっしゃって、働くことがおもしろそうだと思うようになりました。

就活する前としたあとで価値観やキャリアプランなどの変化はありましたか。

—変化というわけではないんですが、就活をしている最中に、それまで気づかなかった自分の中にあるこだわりが気づきました。私は就活をする前は、とにかく20代のうちは働いて、もし結婚するとしても30歳くらいで…と考えていました。でも、実は結婚したら転職はない方がいいのかな、それでも仕事は続けたいのか、最初に考えていたよりも結婚後についてもちゃんと考えたいと言う気持ちが大きいことに気づきました。説明会などに参加して、総合職(全国転勤)で採用された場合、本当に全国どこにでも転勤になる可能性があるのだと実感したからだと思います。

ただ、将来のことは今はわからないので、柔軟性を持って仕事をしていけそうなところに就職しようと決めました。

もし、もう一度就活をするとしたらどんなところに気をつけますか？

—まずは、マイペースでやること。情報を集めることは重要だけれど、情報過多になって混乱しないように、自分に必要な情報とそうでない情報とを整理して、自分のペースを保って心に余裕を持って就活をしたいです。

それから、お金の節約にもっと力を入れること。私は最初、学割も使わずに東京や大阪を飛び回っていたので、交通費や宿泊費だけでどんどん貯金が減っていってしまいました。

そして最後に、広い視野を持つこと。今回最初から選択肢から外していた業界もいくつかあるので、もしもう一度就活をするとしたらもっといろいろな企業を見てみたいですね。

最後に、これから就活を始める後輩たちにメッセージをお願いします。

—とにかく、自分のペースを保つこと、ほどよく息抜きをすることが大事だと思います。就活を始めると、今回の記事にはないこともいろいろ経験すると思いますが、就活は十人十色です。自分を信じて突き進んでいってください。

ありがとうございました！

文責：みつくす、にゃっこ

小学一年生のとき、自由研究が『蟻が好む食物』でした。当時の私は、蟻を見つけてはつまんで、紙箱の中に百匹程の蟻を投入し、なんとサランラップを掛けた！箱の中は酸欠状態に。七歳にしてジェノサイドを取行したひろひーでした。(ひろひー)